

第 1526 回 1 月第二例会

令和 6 年 1 月 23 日（火）に金沢ニューグランドホテルで、第 1526 回通常例会が開催されました。



細川会長の挨拶では、令和 6 年能登半島地震に対するライオンズクラブの取り組みについてお話して頂きました。まず、石川ライオンズ奉仕財団から支援金が送られる予定です。LCIF については、ライオンズの会員 1 人あたり 2,000 円の支援金の要請がきています。

また、334D 地区のキャビネットからも、会員 1 人あたり 2,000 円の支援金の要請がきていますが、この要請については、金沢東ライオンズクラブの予算から支出する予定です。

金沢東ライオンズクラブでは、アラート基金が約 220 万円あります。まず緊急性の観点から、10 万円分の「水」を購入し、その 1/3 を先週堀岡 L. と多田 L. が輪島ライオンズクラブの会長に届けてくださいました。また、金沢市の要請で 20 万円分の救援物資を支援しました。残りの 190 万円につきましては、輪島ライオンズクラブに支援金として支出するよう、理事会にも承認されましたが、20 万円は留保しています。したがって、170 万円を輪島ライオンズクラブに支援金として送ります。

それから、姉妹提携クラブの大垣ライオンズクラブから 100 万円の支援金が、また、堀岡 L. を通じて岡山ライオンズクラブから 10 万円の支援金が届きました。この支援金については理事会で協議しますと述べられました。

本日の挨拶では、細川会長から「竹林 寒風に耐え 皆しなる」という句をいただきました。竹は 1 本では寒風に耐えかねて倒れるかもしれないが、竹林のように皆が寄り添えば寒風にも耐えられる。また、心身ともに竹のようなしなやかな強さを持ちたいという思いを述べられました。



上半期中間決算報告では、会計の作田一則 L. から事業費・例会費・運営費ともに予定通りであると報告して頂きました。また、アラート基金につきましては、会長の挨拶であったように、令和 6 年能登半島地震に支援金として支出するとの報告がありました。



各種報告 PR 事項では、社会奉仕委員長の東龍盛 L. から献血街頭キャンペーンについての PR がありました。幹事の多田浩人 L. からはメガネリサイクル贈呈式についてと、令和 6 年能登半島地震の支援金についての報告がありました。

【本日の昼食】

金沢ニューグランドホテルさんの和風弁当



本日のゲストスピーチは、金沢工業大学名誉教授で工学博士の 新保 實 様から「プラスチック」について、その特性、分類、用途、作り方、公害についてなど色々と説明していただきました。



「プラスチック」の主な特質は粘弾性にあります。粘弾性とはクリープ挙動と応力緩和にあり、応力緩和とは与えられた力が時間とともに減少していくことを言います。人間の体も（プラスチックのように）粘弾性です。従って時間と温度を上手く利用することで、ストレス解消が積極的かつ早くできるようになると講演して頂きました。

最後にテールツイスターの永野琢也 L. が登場し、ドネーションの発表をしていただいて第 1526 回通常例会は終了しました。

(記事：L. 中村吉興計画委員長)